

## 「魅力ある県立学校づくり大賞」特別賞

### 地域に根ざし、地域に学び、地域を拓く人を育む学校の地域貢献活動

千葉県立市原高等学校

本校は小湊鐵道線上総牛久駅の北西530mに位置し、近くには国天然記念物「チバニアン（地磁気逆転地層）」があるなど、自然豊かな環境に恵まれた場所にあります。本校には普通科と園芸科の2学科があり、約270人の生徒は、明るく素直で、元気に勉学や実習に励み、地域連携活動が盛んです。春（全学年）・秋（1・3年）の遠足や、1学年時の全クラスが参加するゴルフ体験、一生の思い出となる2学年時の修学旅行、体育祭（6月）、文化祭（11月）、園芸科における「春の苗物販売会（4月下旬）」「秋の収穫祭（11月下旬）」など、多彩な行事も行っていきます。

本校が今回「魅力ある県立学校づくり大賞」へ応募した内容は、地域活性化のため、コロナ禍でもできることを考え、地域のために取り組んだものです。

概要は、普通科3学年「フードデザイン」選択生徒10人が、地域洋菓子店とコラボし



写真①

て市原市の特産品「イチジク」を使った「チバニアンみtainなスイーツ」の商品化(写真①)、普通科2年生全員が学ぶ福祉教科科目「社会福祉基礎」の時間を活用して「創作かるた」(写真②)を制作し市原市内高齢者施設4か所に贈呈、普通科福祉コース3年生14人が、



写真②

4つの創作リズム体操を考案し、レクリエーションDVD(写真③)として収録後に市原市内高齢者施設27か所にプレゼント、図書委員会1・2年生13名が本校と市原市牛久認定こども園をリモートでつないで0～5歳児を対象に年齢ごとに、5回絵本の読み聞かせボランティア(写真④)を行いました。



写真④

更に、園芸科66人の中で、草花コースの3学年と2学年の生徒が、館山自動車道上り線市原サービスエリア内の花壇で6月に3学年が初夏の花壇、2学年が初冬の花壇を担当し、花壇のデザインを考えて(株)ネクスコ・メンテナンス関東の職員と一緒に草花の植栽にも取り組みました。

これらの取組は、千葉日報新聞等に掲載され、大きな反響を呼びました。

この取組に参加した生徒からは、「自分たちが考えた商品が販売されてうれしかった」「施設の方々に喜んでもらえるように、かるたの文章や絵を工夫しながら書きました」「高齢者が、DVDを見ながら楽しく一緒に踊っていただけたら楽しい」「園児の反応がすごくかわいかった。すごく素直で、読んでいる側も楽しかったです」など、感動の声が多く上がっています。

保護者や地域の方々からは「なかなか商品が買えないんだけど」「入所者はかるた好きが多いので、非常に助かります。活用させていただきます」「高校生の動きに合わせて楽しく体を動かしています」「絵本が楽しかったです。読んでくれてうれしかった」などといった反響が出ています。

更に、商品開発での取組では人伝にベイFMで取り上げられるなど、当初想定していなかった成果もありました。今後も地域のために地域の方々と一緒に楽しんでいただける形で、これらの取組を発展させていきたいと思っております。

本校は、これらも地域のために積極的に取り組んでまいります。御期待ください。

千葉県立市原高等学校 電話0436-92-1541